

条幅部自由参考

12月15日正午必着

明石春浦先生書

浮生適意即為樂

浮生適意即為樂 (司馬光)

浮生は人世。李白の浮生如夢である。この世は氣儘にくらすのが楽しい。

明石幸子書

朝ぼらけ雪ふる空を見わたせば  
山のはごとに月ぞ残れる  
道濟

朝ぼらけ雪ふる空を見わたせば 山のはごとに月ぞ残れる (源 道濟)

森戸春濤書



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

秋晩行堤上。書聲在茅屋。月出不逢人。風來弄修竹。(方登)

秋宵堤上を歩すれば、茅屋から讀書の聲が聞えて來た。なかに讀書の青年がいるのであろう。

寒郊無留影。(江淹)

寒郊留影無し。

冬の郊野には人影一つみえない。

寒生雁背天將雪。冷入魚鰓水欲氷。(黃庚)

寒雁背に生じ天將に雪ふらんとす。冷は魚鰓に入り、水氷らんと欲す。

雁の背に寒さもせまる雪模様の空、冷気は魚のえらにしみ、水も凍りそうである。

甘露寺 (孫魴)

甘露寺 孫魴

寒暄皆有景。孤絶畫難形。

寒暄 皆な景有り 孤絶 画きて形なり難し

地拱千尋嶮。天垂四面青。

地は拱む 千尋の嶮 天は垂る 四面の青

畫燈籠雁塔。夜磬徹漁汀。

屋灯 雁塔に籠り 夜磬 漁汀に徹す

最愛僧房好。波光滿戸庭。

最も愛す 僧房の好き 波光 戸庭に満つるを

山茶花の散りつぐ花のひさしくて 往き來の路も年暮れむとす (窪田章一郎)

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

漏 九  
徹 門  
寒

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す  
 九重の門の奥にひややかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、暁の鐘があまた鳴り響く  
 月の光はほるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる  
 いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建禮 高秋夜

承明 候曉過

九門 寒漏徹

萬井 曙鐘多

月迴 藏珠斗

雲銷 出絳河

更慚 衰朽質

南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

王維

建礼 高秋の夜

承明に 暁を候ちて過ぐ

九門 寒漏徹し

萬井 曙鐘多し

月迴かして 珠斗を蔵し

雲銷えて 絳河出す

更に慚ず 衰朽の質の

南陌に 共に珂を鳴らすことを

(出典)

朝日新聞社刊

「三体詩」下より

維大魏延昌二年歲  
次癸巳二月丙辰朔  
廿九日甲申故處士  
元君墓誌銘  
君諱顯儻河南洛陽  
人也若夫太一玄象  
之原雲門靈鳳之美

維大魏延昌二年。歲

次癸巳。二月丙辰朔。

廿九日甲申。故處士

元君墓誌銘。

君諱顯儻。河南洛陽

人也。若夫太一玄象

之原。雲門靈鳳之美。

12月15日正午必着



二月丙辰朔。



(二月丙)辰朔。廿九日甲申。故處士元君墓誌(銘)。

北魏・元顯佛墓誌

墓誌は故人の姓名、経歴、行年、業績などを、後世に伝えるために石や銅板・磚などに記して墓に埋めたもので、中国では後漢時代から始まり、元の時代まで続いたとされる。故人と共にすぐに土中に埋められるため、損傷がほとんど無く、点画の鮮明なものが多い。

この墓誌は、北魏の延昌二年(五一三)の刻で、十九行・行二十一字、正方形が多いなか、この誌石は大変珍しく、亀の形をしており、甲羅の部分が蓋になっていて、墓名が刻されている。中華民国七年(一九一八)に洛陽から出土し、北京歴史博物館に蔵され、その後国立北平図書館に移置された。

緻密で理知的な結構法で点画の切れ味鋭く、後の唐代における楷法の完成期に繋がる資料として、北魏の墓誌の中でも特に出すぐれたものとされる。

※博：まるくて平らなかわら。

(春濤)

12月15日正午必着

教育部毛筆



さい  
歳

まつ  
末

中学一年

雨宮春聲先生書



や  
夜

けい  
警

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

でん せつ  
伝 説

小学五年



藤井良泰先生書

ほう かん  
防 寒

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



12月15日正午必着



てん

し

小学三年

藤田幸春先生書



せい

りつ

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い も 小学一年・幼年



森戸春濤書

きつ て 手 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

い	ス
山	イ
々	ス
を	と
連	い
想	え
す	ば
る	美
	し

小学五年

ち	自
ん	分
と	の
氏	持
名	ち
を	物
書	に
こ	は
う	き

小学六年

る	近
よ	づ
う	く
な	冬
山	を
の	感
景	じ
色	せ
だ	

中学

を	風
ま	向
く	き
事	を
も	気
出	に
来	し
な	て
い	は
	種

一般(級位)

冬の来て 山もあらはに 木の葉ふり 残る松さへ 峰にさびしき (祝部 成茂)

冬	の	来	て	山	も	あ	ら	は	に	木	の	葉	ふ	り	残	る	松	さ	へ	峰	に	さ	び	し	き
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

く	や
	き
や	い
け	も
た	お
か	い
な	し

幼年

ス	大
ツ	き
リ	な
ー	ク
で	リ
す	ス
	マ

小学一年

さ	と
ん	な
の	り
家	町
に	の
い	お
く	じ

小学二年

が	野
	山
冬	の
み	ど
ん	う
す	ぶ
る	つ

小学三年

て	冬
い	休
ど	み
お	の
り	宿
終	だ
わ	い
っ	は
た	予

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

霜の池に  
夜ふけてぞなくをしのひと聲

霜の池に  
夜ふけてぞなくをしのひと聲



霜こほりこゝろもとけぬ冬の池に夜ふけてぞなくをしのひと聲曾奈  
(新古今集・藤原元真)

岩本景楓先生書